

事前評価個表

事業名	森林居住環境整備事業（国有林）	事業計画期間	平成16年度～平成20年度																								
事業実施地区名 （都道府県名）	中予山岳森林計画区（ちゅうよさんがく） （愛媛県）	事業実施主体	四国森林管理局 愛媛森林管理署																								
事業の概要・目的	<p>中予山岳森林計画区は、愛媛県中央部に所在する13,036haの国有林野を対象としている。</p> <p>当計画区の立地条件等（奥地林・里山林）は多様であるが、自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請は高い。</p> <p>本事業は、これらの要請に応えながら、森林の重視すべき機能の区分に配慮しつつ集落周辺国有林の適切な森林整備等を行うことにより、山村地域の居住環境の改善及び都市と山村との交流等の促進にも資することを目的とする。</p> <p>主な事業内容</p> <table border="0"> <tr> <td>森林整備</td> <td>更新面積</td> <td>0 (ha)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>保育面積</td> <td>427 (ha)</td> </tr> <tr> <td>路網整備</td> <td>開設延長</td> <td>0 (km)</td> </tr> <tr> <td></td> <td>改良延長</td> <td>0 (km)</td> </tr> </table>			森林整備	更新面積	0 (ha)		保育面積	427 (ha)	路網整備	開設延長	0 (km)		改良延長	0 (km)												
森林整備	更新面積	0 (ha)																									
	保育面積	427 (ha)																									
路網整備	開設延長	0 (km)																									
	改良延長	0 (km)																									
費用対効果分析	<table border="0"> <tr> <td>総費用（C）</td> <td></td> <td>87,331千円</td> </tr> <tr> <td>総便益（B）</td> <td>水源かん養便益</td> <td>60,169千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>山地保全便益</td> <td>27,405千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>環境保全便益</td> <td>8,717千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>木材生産便益</td> <td>23,277千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>森林整備経費縮減等便益</td> <td>0千円</td> </tr> <tr> <td></td> <td>計</td> <td>119,568千円</td> </tr> <tr> <td>分析結果（B/C）</td> <td></td> <td>1.37</td> </tr> </table>			総費用（C）		87,331千円	総便益（B）	水源かん養便益	60,169千円		山地保全便益	27,405千円		環境保全便益	8,717千円		木材生産便益	23,277千円		森林整備経費縮減等便益	0千円		計	119,568千円	分析結果（B/C）		1.37
総費用（C）		87,331千円																									
総便益（B）	水源かん養便益	60,169千円																									
	山地保全便益	27,405千円																									
	環境保全便益	8,717千円																									
	木材生産便益	23,277千円																									
	森林整備経費縮減等便益	0千円																									
	計	119,568千円																									
分析結果（B/C）		1.37																									
評価結果	<ul style="list-style-type: none"> ・必要性： 自然環境の維持、保全及び水源かん養等、公益的機能の発揮等に関する地域の要請に応えるために本事業の実施が必要である。 ・有効性： 国有林の地域別の森林計画に即した事業内容であり、地域の特性を踏まえた有効な事業と認められる。 ・効率性： 費用対効果分析の結果から十分な効率性が認められる。 <p>新規地区採択に当たっての審査項目（チェックリスト）、費用対効果分析及び各観点からの評価を踏まえて総合的かつ客観的に検討したところ、森林の重視すべき機能の区分に応じた適切な森林整備が効率的に計画されているものと認められる。</p>																										

国有林森林整備事業の事前評価の費用対効果集計表

森林管理署	愛媛
森林計画区	中予山岳
事業名	森林居住環境整備事業

効果測定項目	評価内容	便益額 B (評価額)			備 考
		森林整備計	路網整備計	(千円) 計	
水源かん養便益	洪水防止便益	32,702		32,702	
	流域貯水便益	11,783		11,783	
	水質浄化便益	15,684		15,684	
国土保全便益	土砂流出防止便益	27,405		27,405	
	土砂崩壊防止便益			0	
環境保全便益	炭素固定便益	8,717		8,717	
林業生産便益	木材生産等経費縮減便益			0	
	木材利用増進便益			0	
	木材生産便益(森林整備分)	23,277		23,277	
	木材生産便益(路網整備分)			0	
森林整備経費縮減等便益	歩行時間等経費縮減便益				
	作業道作設経費縮減便益				
	治山経費縮減便益				
	森林管理等経費縮減便益			0	
総便益額 (B)		119,568	0	119,568	
総費用額 (C)		87,331		87,331	
費用対効果分析 (B) / (C) =				1.37	

注) 1 に適宜入力する。

2 (B) / (C) 1 . 0 であれば , 社会経済的に評価でき , 実行可能性があることを意味する。